インフルエンザHAワクチンの予防接種説明書

インフルエンザ HA ワ クチンの接種に当たって、受けられる方の健康状態をよく把握する必要があります。そのため、 表面の予診票にできるだけ詳 しくご記入ください。ワクチン接種を受けられる方が子どもさんの場合には、健康状態を よく把握 している保護者がご記入ください。

＜ワクチンの効果と副反応＞

インフルエンザHAワクチンの接種により、インフルエンザを予防したり、症状を軽くしたりすることが期待されます。また、インフルエンザによる合併症や死亡を予防することが期待されます。

一方、副反応は一般的に軽微です。注射部位が赤くなる、腫れる、硬くなる、熱をもつ、痛くなる、しびれる、小水疱などがみられることがありますが、数日以内に自然に消失します。また、発熱、悪寒、頭痛、倦怠感、一過性の意識消失、めまい、リンパ節腫脹、咳、嘔吐・嘔気、腹痛、下痢、食欲減退、関節痛、筋肉痛、筋力低下などが起こることがあります。過敏反応として、発疹、蕁麻疹、湿疹、紅斑、多形紅斑、かゆみ、血管浮腫などが起こることもあります。その他に蜂巣炎、顔面神経麻痺などの麻痺、末梢性ニューロパチー、失神、血管迷走神 経反応、ブドウ膜炎、振戦が現れることがあります。強い卵アレルギーなどのある方は強い過敏反応を生 じる可能性がありますので、 接種前に必ず医師に申し出てください。

重大な副反応としては、次のような副反応が起こることがあります。(1)ショック、アナフィラキシー（蕁麻疹、呼吸困難、血管浮腫など)、 (2)急性散在性脳脊髄炎（接種後数日から 2 週間以内の発熱、頭痛、けいれん、運動障害、意識障害など)、 (3)脳炎、脳症、脊髄炎、視神経炎、(4)ギラン・バレー症候群（両手足のしびれ、歩行障害など)、 (5)けいれん（熱性けいれん含む)、 (6)肝機能障害、黄疸、(7)喘息発作、(8)血小板減少性紫斑病、血小板減少、(9)血管炎（lgA血管炎、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、自由球破砕性血管炎など)、 (10)間質性肺炎、(11)皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson 症候群)、 急性汎発性発疹性膿 疱症、(12)ネ フローゼ症候群など。その他にも不明・不安な症状が現れたり、これらの疾患が疑われるような場合には、接種医又はお近くの医療機関にご相談ください。

任意接種の場合は、予防接種法に基づかない接種となるため、健康被害については、独立行政法人医薬品医 療機器総合機構法に基づく救済を受けることになります。救済制度についてのご相談及び詳細は独立行政法人医薬品医療機器総合機構にご相談いただくか、ホーム ページをご覧ください。

◇救済制度相談窓口 【電話番号 0120－149－931】 ◇ホームページ https://www.pmda.go.jp

＜予防接種を受けることができない人＞

1）明らかに発熱のある人（37.5℃以上の人）
2）重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
3）過去にインフルエンザHAワ クチンの接種を受けて、アナフィラキシー（通常接種後30分以内に出現する呼吸困難、全身性の蕁麻疹などを伴う重症のアレルギー反応)を起こしたことがある人
なお、他の医薬品投与を受けてアナフィラキシーを起こした人は、接種を受ける前に医師にその旨を伝えて判断を仰いでください。
4）その他、医師が予防接種を受けることが不適当と判断した人

＜予防接種を受けるに際し、医師とよく相談しなければならない人＞

1）心臓病、腎臓病、肝臓病や血液の病気などの人
2）発育が遅く、医師、保健師の指導を受けている人
3）過去にインフルエンザ予防接種を受けた時に、2日以内に発熱、発疹、蕁麻疹などのアレルギーを疑う異常がみられた人
4）薬の投与又は食事（鶏卵、鶏肉など)で皮膚に発疹が出たり、体に異常をきたしたことのある人
5）過去にけいれんを起こしたことがある人
6）過去に免疫不全の診断がなされている人及び近親者に先天性免疫不全症の人がいる人
7）妊娠の可能性がある人
8）間質性肺炎、気管支喘息などの呼吸器疾患のある人

＜予防接種を受けた後は以下の点に注意してください＞

1）イ ンフルエンザ HA ワクチンの接種を受けたあと30分間は、急な副反応（息苦しさ、蕁麻疹、咳など)が起きることがあります。医療機関にいるなどして、様子を観察し、医師とすぐ連絡をとれるようにしておきましょう。
2）接種当日は、接種部位を清潔に保ち、いつもどおりの生活をしましょう。激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。
3）接種当日の入浴は差し支えありませんが、注射した部位をこすることはやめましょう。
4）万一、高熱やけいれん等の異常な症状が出た場合は、速やかに医師の診察を受けてください。

経鼻弱毒生インフルエンザワクチン(フルミスト点鼻液)接種説明書

経鼻弱毒生インフルエンザワクチン(フルミスト点鼻液)の接種を実施するにあたり、接種を受けられる方の健康状態を把握する必要があります。そのため、予診票に詳細をご記入の上、医師の診察をお受けください。なお、接種要注意者に該当される方は、接種当日までに接種を希望される医療機関にご相談ください。また、お子さまの場合、健康状態をよく把握している保護者の方がご記入ください。

＜ワクチンの効果と副反応＞

本ワクチンはインフルエンザウイルスを弱毒化した生ワクチンです。接種後に体の中で増えたワクチンウイルスに対する免疫ができ、インフルエンザウイルスの感染を予防します。一方、本ワクチンの接種に伴う副反応として、発熱、鼻閉・鼻漏、咳嗽、口腔咽頭痛、頭痛などがみられることがあります。また、非常にまれですが、重い副反応としてショック、アナフィラキシー、脳神経障害、脳炎、けいれん、血管炎、ギラン・バレー症候群などが報告されています。

任意接種の場合は、予防接種法に基づかない接種となるため、健康被害については、独立行政法人医薬品医 療機器総合機構法に基づく救済を受けることになります。救済制度についてのご相談及び詳細は独立行政法人医薬品医療機器総合機構にご相談いただくか、ホーム ページをご覧ください。

◇救済制度相談窓口 【電話番号 0120－149－931】 ◇ホームページ https://www.pmda.go.jp

＜予防接種を受けることができない方＞

1) 明らかに発熱している人(体温37．5℃以上)
2) 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
3) 本ワクチンに含まれている成分によってアナフィラキシーを呈したことが明らかな人
4) 明らかに免疫機能に異常のある疾患をお持ちの人および免疫抑制をきたす治療を受けている人
5) 経口または注射の副腎皮質ホルモン剤を使用している人
6) 妊娠していることが明らかな人
7) その他、医師が予防接種を受けることが不適当と判断した人

＜予防接種を受けるに際し、医師とよく相談しなければならない人＞

1) ゼラチン含有製剤又はゼラチン含有の食品に対して、ショック、アナフィラキシー等の過敏症の既往がある人
2) 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患などの基礎疾患のある人
3) 過去に予防接種で接種後2日以内に発熱、全身性の発疹などのアレルギーを疑う症状がみられた人
4) 過去にけいれんの既往がある人
5) 過去に免疫状態の異常を指摘されたことのある人、または近親者に先天性免疫不全症の方がいる人
6) 重い喘息のある方または喘鳴の症状のある人
7) 薬の服用または食事(鶏卵、鶏肉、その他鶏由来のもの)でアレルギー症状を呈するおそれのある人
8) 妊娠可能な方(接種前1か月間避妊していない人)
9) 授乳中の方(ワクチン接種後1～2週間は乳児との接触を可能な限り控えてください)
10) サリチル酸系医薬品(アスピリンなど)、ジクロフェナクナトリウム、メフェナム酸を服用している人

＜予防接種を受けた後は以下の点に注意してください＞

1) 接種当日は過激な運動は避けてください。なお、接種当日の入浴は差支えありません。
2) 妊娠可能な方は、接種後2か月間は妊娠をしないように注意しましょう。
3) 接種後1～2週間は乳児や重度の免疫不全の方との接触を可能な限り控えましょう。
4) 接種後は、副反応が生じる可能性があります。気になる症状がみられた際は、病院での診察をうけてください。稀にアナフィラキシーなど重篤な副反応が生じる可能性があります。緊急性を要する場合は、速やかに病院での診察をうけてください。